

授業を静かに聴き、「理解」を確実にしよう
－偏差値50突破は、確実な「理解」がカギ－

開倫塾
塾長 林 明夫

Q 偏差値50突破の「カギ」、「キーポイント」「秘訣」は何ですか。

A (林明夫。以下省略)学校や開倫塾で、先生の授業を静かにじっくり聴く力を一日も早く身に付けて「理解」を確実にすることです。

Q そもそも「理解」とは何ですか。

A 何か物事を学ぶ段階、ステップには「理解」→「定着」→「応用」の3つがあると私は考えます。

「うん、なるほど。」と「腑に落ちる」、「これは、こういうことだったのか。」と「納得する」、「目から鱗が落ちる」のが、第1ステップの「理解」の段階です。

一度「うん、なるほど。」と「理解」したことが何も見ないでスラスラ口をついて言え、何も見ないで楷書(かいしょ)で正確に書けたり、簡単な計算なら問題を見た瞬間に条件反射で答えが出るのが、第2ステップの「定着」の段階です。

「理解」し、「定着」した内容が、「定期試験」や「実力試験」、「模擬試験」「国家(資格)試験」「採用試験」など(そうです。これから皆様は人生においてこんなにもたくさんの「試験」を受ける「運命」にあるのです。)で出題された場合に、合格点を取ることができ、更には実際の生活で活用できるのが、第3ステップの「応用」の段階です。

その第1ステップが、「理解」の段階です。分かりましたか。「理解」を確実にすれば、多くの科目で偏差値50突破は可能です。また、先月号でもお話したように、「定着」のための作業をコツコツ積み重ねれば偏差値60以上取ることも可能です。

このように、勉強には、その人の学力レベルに応じた「方法」があります。偏差値「50」突破のカギは、学校や開倫塾の先生の授業を静かに聴く力を一日も早く身に付けて「理解」を確実にすることです。

Q 「理解」を確実にするだけで、偏差値は50を超えるのですか。

A 学校の教科書に書いてあるレベルの内容が「うん、なるほど。」と確実に「理解」できていれば、偏差値50は取れます。偏差値50以下の方は、学校の教科書に書いてあるレベルの内容の「理解」が足りないからだとは思います。

Q どうすれば「理解」が確実になるのですか。

A 何回も言いますが、学校や開倫塾の先生の「授業を静かに聴く力を一日も早く身に付けること」です。

もちろん学校や開倫塾の教科書・テキストを一行一行自分の力で読み進め、「理解」できれば最高です。ただし、一人ではなかなか全て「理解」することが難しいのが偏差値50以下の方です。(新しい物事

を100%確実に「理解」したければ、それまでに学んだ内容を100%「理解」「定着」しておくことが大切です。従って、偏差値が「60」以上の科目は、一人でも学校の教科書や開倫塾のテキストを「理解」できるようです。)

一人で「理解」するのが難しい偏差値50以下の方の場合、学校や開倫塾の先生の丁寧な授業を静かに聴く力を一日も早く身に付けることが最も効果的です。

Q 何回も学校や開倫塾の先生の「授業を静かに聴く力を一日も早く身に付けること」が大切だとおっしゃっていますが、どういうことですか。

A 学校でも開倫塾でも、授業は静かに受けなければ確実な「理解」は無理です。先生の目を見、あごを引き、歯を食いしばって全力を集中し、一言も聴き漏らさないぞという態度も身に付けるべき大切な能力です。大切なことはどんどんメモをとり続けることも、これまた身に付けるべき大切な能力です。ですから、これらの授業を受けるときの能力が身に付いていない人は、一日も早く身に付けることをお勧めします。

授業中たとえ小さな声であっても他愛もないお喋りをするのは、お喋りの相手の「理解」を妨げることになります。大きな声を出し続ければ、クラス中の人々の「理解」を妨げることになり、「授業妨害」となります。自分のためにも、隣の人のためにも、クラス全体の人のためにも、授業中は先生が指示した場合以外は一切口を開かないこと、これも身に付けるべき大切な能力です。学校や開倫塾で静かに授業を受け続け、教科書やテキストの内容を確実に「理解」すれば、それだけで偏差値50は突破できます。

是非お取り組み下さい。

開倫塾では、「理解」を確実にし、全塾生の偏差値50以上を実現するために、授業中のヒソヒソ話(お喋り)と大声を出すことによる「授業妨害」を今後一切禁止します。違反者は手続きに則り処分しますので、「静かに先生の授業を聴く力」を一日も早く身に付けるよう心がけましょう。